



私たちの 町議会びらとり



おおうら よしみ
作：大浦 義己 氏
振内町在住
(油 絵)

ここが聞きたい一般質問	P 2
委員会報告	P 4
行政報告	P 7
審議した議案	P 8
議会の仕組み NEW	P 9
あの人に聞く	P 10

vol.117 2023.11.10

ここが聞きたい一般質問

※この文章は一般質問した議員本人が要約し、作成しております。
質疑応答の全文は平取町ホームページの平取町議会議事録をご覧ください。

かやの ひさひこ
菅野 久彦 議員

高齢者施設の現状とこれから

問 平取町の高齢者人口がじきに4割に達する状況にある中で、現在の高齢者向け施設の入所・利用状況と、町内施設に入所できずに他市町村施設へ入所・利用されている状況について伺います。

答 (保健福祉課長)

平取かつら園は定員55名に対し入所者55名、入所申込者21名、こちらのホームふれないは定員18名に対し入所者18名、入所申込者19名、ケアハウスしずかは定員20名に対し入所者20名、入所申込者2名、生活支援ハウスきずなは定員9名に対し入所者9名、入所申込者ゼロとなっています。町外施設入所者は令和4年度については5名となっています。※入所申込者にはすでに他施設に入所中の方も含まれます。

問 今後高齢者人口が増え、入所申込者が増える見込みですが、今後の施設利用者の推移と施設整備の在り方について伺います。

答 (保健福祉課長)

今後の介護認定者数は減少に転じる見込みとなつていくことから、施設の増床・増築は行わない考えです。これまで同様、町内施設への入所を優先して対応していきますが、空きがなければ、町外施設の利用調整を行うこととなります。

また、介護予防の取り組みを進めるとともに、在宅サービスの利用を中心とした介護支援で対応、更には病院との連携により、医療、介護、お互いの施設の有効利用を図ることが重要と考えています。

問 具体的な方策を伺います。

答 (保健福祉課長)

現在、運動教室「まる元」(地域まるごと元気アッププログラム)を実施していますが、今年度、「まる元」のゆるやか版「ゆる元」の初級

指導者認定講座を開催し、参加者26名全員が指導者認定を受けていますので、希望する交流サロン等へ指導者が出向き、運動教室を実施する予定としています。

医療と介護の連携では、関係機関の担当者が集まり、情報共有や意見交換を行っています。この場では、病院施設間の連携をスムーズに行うため、入退院調整ルールのマニュアル化に向けた作業を行っています。



▷特別養護老人ホーム
平取かつら園

きむら ひでこ
木村 英彦 議員

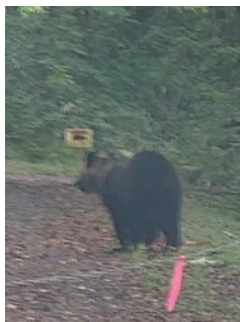
平取町の春グマ駆除の解禁について

問 町内各地域でヒグマの出没が多発しております。春グマ駆除の解禁について議論されていますが、平取町はどのような対策をとっているのか。駆除に当たっては、ハンターの人材不足が各地で起きています。平取町におけるハンターの人数と年齢層を伺います。

答 (町民課長)

平取町では、現在はまだ積極的に捕獲をしに山に入ることには実施していない状況です。ハンターの人数は計48名で、年齢層は30代以下が2名、40代が7名、50代が5名、60代が14名、70歳以上の方が20名という年齢構成となります。

問 町内のハンターも高齢化が進んでいると思います。人材育成についてはどのように進めているのか。



△ヒグマ(宿主別)

弾は一発1000円以上、猟銃も新品だと30万円以上、それぞれケースに入れて保管しておかなければならないなど経費もかかるようです。機材の補助など育成していける環境づくりをするべきだと思います。

答 (町民課長)

町では、浦臼町にあります実弾での射撃研修場での研修、ハンターが加入する保険料への補助、免許取得費用の支援を行うことで、ハンターの確保に努めているところですが、人材育成という部分ではまだ少し弱い面があるかと思っています。猟友会とも検討しながら、ベテランハンターと経験の少ない方と一緒に、駆除を実施するだとか、猟銃の購入の軽減など個人負担があまりないような補助制度も考えていきます。弾のケース、猟銃のケースへの補助も、同時に考えていきます。

※このほかに「二風谷ダム」の活用について「質問しています。」

まつざわ いぐこ 松澤 以久子 議員

放課後児童の

安全・安心な居場所確保

問 平取町では現在、共働き家庭等の放課後児童の安全・安心な居場所として「児童館」「放課後児童クラブ」「放課後子供教室」を開設しています。放課後子供教室は閉所時間が5時で、長期休暇には閉所してしまします。放課後児童クラブ(びらとり)は場所が狭いため人数が限られています。そのデメリットを少しでも解消するため2018年9月14日に国から出された「新・放課後子ども総合プラン」を検討してはと思います。

その内容は、厚生労働省管轄の「放課後児童クラブ」と文部科学省管轄の「放課後子供教室」の一体的な実施を中心に両事業の計画的な整備を目指すとなっております。市町村の体制、役割等の中に「学校施設の使用計画や活用状況等について、十分に協議を行い、教育委員会と福祉部局の双方が責任を持つ仕組みと

なるよう、適切な体制作りに努めることが必要である」と記されています。また当然ですが教職員の負担とならないようにとも書かれています。児童の数もこれから先読めないという難しさもあるとは思いますが、平取町も共働き家庭のサポートを充実させることは、働き手確保にもつながることと考えますので、「新・放課後子ども総合プラン」に基づいて実情に合った放課後児童の安全・安心な居場所づくりを構築してはいかがか。

答 (保健福祉課長)

保健福祉課と教育委員会生涯学習課が連携を図り、一緒に考えていくことが重要で、役場内部でお互いの問題課題について、情報共有を行いたいと考えます。放課後児童クラブと子供教室の一体化については、ボランティアの活用を含め平取町に合った、柔軟な仕組みづくりを検討したいと思います。

放課後の子供の居場所づくりについては、子ども子育て会議や、町長と教育委員会で構成される総合教育会議でも議題として取り上げ、効率的な取り組みを進めていく考えです。



△放課後児童クラブ(びらとり)

さきひろ ひでき 崎廣 秀樹 議員

地域交通の現状と課題

住民の足の確保について

問 地域交通の現状を確認するために先日札幌まで公共交通機関を利用して往復してまいりました。本年度、町では、デマンドバスで1400万円、道南バスへの補助金が2900万円、びらつくる号が330万円、スクールバスで3800万円。そして町有バスが1100万円、合計9600万円。このほかに、移動手段として老人福祉バスの運行などに3300万円予

算計上されています。合計すると1億円以上の事業です。一般会計の予算が70億円になりますから70分の1の事業です。

将来に向けて、安心で安全な老後、最低限の移動手段、住民の足の確保に向けての政策づくり「住み続けられるまちづくり」のために、そして事業者も持続可能な仕組みづくりを行う必要があると思います。そのためには、現在行っている各事業を事業ごとではなく全事業を一括して考える、資源の総動員を行うということが重要と考えますが、伺います。

答 (町長)

地域交通の議論が活発化したのは平成20年頃からで、私も1億円以上のお金があれば、何か全く新しい公共交通機関に転換していくイメージを思っていました。

現在、まちづくり課で新たな計画を検討中です。来る高齢化の地域を見据えて、真剣に検討いたします。

問 今早急に町民が求めている、

夕方18時50分に富川に着く高速ペガサス号にデマンドバスを向けることは出来ないのか伺います。

答 (まちづくり課長)

ご不便をおかけして申し訳ありませんが、運行時間の都合上、デマンドバスでの対応は難しい状況です。日高町と一緒に道南バスに接続可能な路線バス運行を要請できないか調整しているところです。運行形態上、ボランティア有償運送も有効だと考えております。



△平取町デマンドバス

自治基本条例の 取り組みについて

問 2008年3月制定4月施行

の平取町自治基本条例について伺います。この条例は罰則規定の無い理念条例でありますから、真摯に取り組んでいくべきですが、発信側の町も受信側の町民もそれぞれ工夫が必要だと考えます。制定後15年を経過しておりますが、現在の条例実践の進捗度について伺います。

答 (町長)

住民参加のパブリックコメントなど意識して、以前よりは実施出来ていますが、まだまだ日々の我々の仕事の中で、常に恒常的に自治基本条例を意識しながら進めるとするのは、難しいところもあります。今日改めて、こういったご質問もいただきましたし、平成26年度に一部改正を行った以後、見直しを行ってまいるので行方方向で検討します。

※反問 (町長)

崎廣議員にお聞きいたします。

本条例を策定したときに、色々議論があった中で、第5章の議会という条項ですが、やはり議会運営の基本的な原則、基本方針を「議会基本条例」という形で制定する必要性を、私としては感じていますが、どう考えるか伺います。

答弁 私は、私たちの町にも

「議会基本条例」は、必要だと考えておりますから、この本会議の後開催される「政策会議」で意見反映してまいります。

※反問とは

議会の会議において、議員からの質問や質疑の趣旨、内容、背景、根拠、考えなどを確認するため、町長や町の職員が、議員に質問すること。

総務文教常任委員会

8月30日開催 報告事項

◆二風谷地区(二風谷コタン) 整備事業工房建設工事について

事業場所は二風谷地区「匠の道」通りの国道に面した1100㎡の整備で、匠の工房3棟と担い手の工房1棟合わせて4棟を建設し、工芸家支援、工芸家育成支援と観光資源の掘り起こしを目指します。外構工事は令和6年度に行います。

Q 工房に入る方は決まっていますか。 (金谷)

A 工房に入る匠の方3名は決まっています。担い手の工房については調整中です。

(まちづくり課長)

Q 4棟の建物の基礎工事はどうなっていますか。プレハブハウスなので簡単な基礎となると説明を受けていました。

(千葉)

A アイヌ総合推進交付金事業ですので、国との交渉の中でしっかりと基礎とすることになりました。

(まちづくり課長)

Q この工事の地権者の一部で工事に理解を示されていない方がいると聞いていますか。(四戸)

A 一定程度理解を得られたと認識していますが、近々集まっていたき、最終確認をしていただくことになっています。

(まちづくり課長)

産業厚生常任委員会

8月31日開催 報告事項

◆振内国保診療所の新医師招へいについて

藤井医師の契約期間が満了の為、振内町出身である菅原勇氏74歳をお迎えします。現在、東京都で「ひかりクリニック」を営んでおり、院長

をされております。診療科目については内科、小児科、訪問診療など、幅広く行われています。

Q 事務員や看護師についてはどう考えているのか。(木村)

A 職員については、菅原先生のほうで対応することです。

(町民課長)

◆ケアハウスしずかのボイラー更新について

平成16年の設置から19年が経過し現状、異音やバーナーの劣化による点火不良、圧力調整の不良など、様々な不良が発生していることから、老朽化が原因と考え事業費1090万円(うち町補助581万円)で更新を予定しております。

◆令和5年度平取町介護人材確保に関わる取り組みについて

国は介護人材確保対策として、介護職員の処遇改善・人材確保や育成・離職防止・介護職の魅力向上・外国人材受け入れなどの取り組みを推進しており、平取町もこの対策に添って令和4年度に「平取町介護人

材確保に係る協議会」を設置して様々な取り組みを行っております。

Q 外国人材確保について居住場所や生活習慣に添った対応を考えているのか。(木村)

A 外国人材確保の受皿体制づくりは必要だと思っています。色々状況を見ながら、対応していきたいと思っています。

(町長)



▷静内高校での出前講座の様子

介護職の魅力向上の取り組みの一つとして高校で出前講座を行っております。介護施設職員から介護の魅力聞き「実際に施設でどういった取り組みを行っているのかを知れて良かった」「介護に対するイメージが少し良くなった」という感想が寄せられました。

◆低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)について

今年6月に補正予算300万円を計上し、特別給付金を支給しておりますが、当初の見込みより、一部自営業世帯の収入が減収となったおり、令和5年度は非課税となった子育て世帯が多く、予算に不足が生じる見込みとなりましたので、不足額125万円を補正予算に計上しようとするものです。

◆認知症グループホーム「こころのホームふれない」について

令和5年9月1日からの2ユニットの開設に向けて、取り組んでいきます。7月末現在の入所状況は9名と満床です。施設内のデイサービスについては、現在3名で稼働中ですが、9月から休止する見込みです。定員9名に対し7月末現在、27名の申込みがありました。入所判定会議で入所順位を決定しましたが、入所とならなかった18名のうち他の施設等入所者8名、入院中6名、転出予定1名、自宅待機者3名となっています。

Q 入所希望者が増えると考えられる中で、今後の対応について伺います。
(四戸)

A 介護人材の不足もあり、今の時点で更に定員を増やしたり、新たに開設することにはならないという現状があるかと思えます。町内の高齢者施設等、トータル的に考えて、待機している方々をどうしたら良いかを総合的に判断し、考えなくてはならないと思っています。
(町長)



△こころのホームふれない

◆国道237号平取町振内函渠工生活雑排水移設に伴う補正について
振内国道の改良に伴い、雑排水施

設の移設が必要となり、マンホールポンプ室2箇所の機械設備と電気設備の工事を進捗させる必要があります。事業費の不足分2608万2000円を補正します。

◆林業専用道川向線開設事業について

又タップ林道の支線として、1号線及び2号線の全体延長2000mを開設する計画のうち、盛土規制法に添った工事を追加するための設計変更が必要となり、事業費に500万円を増額補正します。

◆畑地化促進事業及び水田活用の直接支払交付金の申請状況について

畑地化促進事業とは、水田を畑地化し畑作物の本作化を促すことを目的としております。畑地化後は支援金が交付され、これまでの水田活用の直接支払交付金の交付対象外水田となります。当町では398人が要望し、採択され申請に至った方が35人で昨年度に畑地化した8人と合わせ実人数で合計42人、金額にして約4億4700万円を申請している状況です。今回採択に至らなかった方

については、今後も順次要望を続け、採択を待つこととなります。また採択されなかった方は、これまでどおり水田活用の直接支払交付金が交付されることとなります。交付金額は、合計約2億5300万円で、前年比で約2億9400万円の減額という状況になっております。

Q 今後の農地利用を考えた場合、地域と話し合いを進めるべきでは。
(中川)

A 土地利用と言う部分では、関係機関も入れた中で、地域とは話し合いを進めていきたいと思っています。
(産業課長)

◆令和4年度平取町畜産公社第50期決算状況等について

令和4年度事業実績について、肥育素牛導入は、72頭で仕入額4072万6千円、1頭当たりの単価は、56万5千円でした。肥育牛販売については、116頭で売上額1億1697万9千円、1頭当たりの単価は100万8千円でした。事業全体の売上額は、1億4347万3千円、営業利益については、マイナス42

38万4千円で、当期純利益は、マイナス1990万6千円でした。

Q 人手不足もある中で今後作業改善していく考えはあるのか。
(四戸)

A 畜産公社では、既にコスト削減に努めており、これ以上の削減は厳しく、改善費用の捻出は難しいと思っています。販売単価を上げるため、流通販路の確立について色々と協議はさせていただいております。
(産業課長)

◆化学肥料低減定着対策の取り組みについて

化学肥料の2割低減に向けた取り組みに対し、経費の2分の1が国より交付されます。化学肥料低減には欠かせない土壌分析装置の更新と診断料の負担軽減を行います。



△土壌分析装置

行政報告

《第6回臨時会》(8月8日開催)

◆要望経過報告について

6月27、28日にアイヌ総合政策推進交付金に関する要望について、町長、平取アイヌ協会長が道内選出国會議員、国土交通省北海道局長など各関係機関へ要望しました。

7月18、19日に令和6年度の日高地方総合開発に関する提案・要望、室蘭児童相談所苫小牧分室への一時保護所機能の設置に関する要望などについて、日高総合開発期成会として町長と副議長が参加し、北海道知事、道議會議長、北海道開発局長など各関係機関へ要望しました。

7月28、29日に令和6年度の日高地方総合開発に関する提案・要望、強い馬づくりと軽種馬経営の持続的発展に資する馬産地活性化についての要望のほか、公共事業予算に関する要望などについて、日高総合開発期成会として町長が参加し、道内選出国會議員、総務大臣、国土交通大臣など各関係機関へ要望しました。

《第7回定例会》

(9月21・22日開催)

◆令和5年度平取町表彰について

今年度の功労表彰及び貢献表彰の受賞者が報告されました。

◆びらとり温泉ゆから露天風呂の利用中止について

施設の自主検査で露天風呂から基準値を上回るレジオネラ菌が検出されたため、関係機関及び町による現地確認を受け、利用中止としたとの報告がありました。原因は土壌に生息している菌が夏場の繁忙期には入りやすくなると考えられ、その後、配管の消毒洗浄を行い、清掃の徹底と引き続き検査を実施し、問題がなければ利用中止が解除されます。露天風呂以外の内風呂は別系統の配管となっていることから、引き続きご利用いただけます。

◆振内町民センターの灯油漏洩事故について

8月29日に振内町民センターの油量計から残油が少ないことを知らせる警報が鳴ったため、タンクを確認したところ、想定よりも減少してい

たため漏洩を疑い、消防署との調査を実施しましたが、漏洩箇所の特定には至らず、減少分を給油しました。9月11日に再度減少していることが発覚したため、再度調査を実施したところ、女子トイレ床下配管からの漏洩が確認されました。その後、町内設備業者により掘削調査等を行いました。土中や排水管、河川への混入は認められず、現在のところ近隣住民からの異臭等の連絡は入っていません。

今後、専門業者による配管の圧力検査を実施し、ほかにも漏洩箇所がないか調査を進め、関係機関の指導、助言を仰ぎながら、適切な処理を行います。

◆農作物の生育状況について

7月から9月にかけて記録的な猛暑が続く、最低気温が平均気温を上回るといった、これまでにない状況が続く、これにより一部の農作物では高温障害が発生するなど、生育状況に影響が出ています。

水稲では、主食用コメの需要の減少などにより、全体の作付面積が443.1haと近年にない減少と

なっています。春先の天候により平年より丈が短く、移植直後は若干生育が停滞していましたが、6月以降の好天によって早くに出穂期を迎え、登熟期へと順調に進み、成熟期は平年より15日早まっており、既に各地域において収穫作業が進められています。不稔もほとんどなく歩留まりが良いと思われますが、平年の9割程度の収量を見込んでいます。

トマトは出荷開始時期には前年より少ない量で推移していましたが、6月から8月にかけて高温気象が続いたことから生育が順調に進み、9月6日現在、前年を上回る出荷量となっています。しかし、記録的な猛暑により、軟質化、尻腐れなどの障害が発生しているため、今後の出荷状況が懸念されるところです。



△生育調査の様子

教育行政報告

7月上旬に開催された中体連日高地区大会は4年ぶりに行動制限のない大会となりました。生徒たちが練習の成果を発揮した結果、4種目11名が全道大会へと進みました。出場前には激励会を実施しています。

7月12日に議会や町のご協力のもと小学生議会を開催し、各小学校から10名の小学生議員がまちづくりや行政に対する質問を行うとともに、議会の仕組みや役割を学びました。

7月21日以降、各学校で終業式が行われ、夏季休業に入りました。

8月2、3日の予定でわくわく自然体験スクール（4、5年生24名参加）を開催しましたが、会場であるエコランド入口付近での熊目撃報告があり、1日目の夕方で中止しました。今後子どもたちの安全・安心を第一に考えた事業を展開します。

夏季休業明けも猛暑が続き、教室内温度が高温となったため、安全な学習環境ではないと判断し、8月24、25日を臨時休校としました。引き続き暑さ対策を検討します。

6月に道教委が実施したいじめに関するアンケート（回答者325名）の結果、4月から回答日までに、「嫌な思いをしたことがある」との回答が53件あったことから、直ちに児童生徒に聞き取りを行い、状況を把握、また、家庭とも連携を図り解決に至っています。

全国的に不登校児童生徒が急増している中、町内においても不登校・別室登校、学習・心理社会面に問題を抱える児童生徒がおります。原因は複雑多様化し、個々への支援方法が異なることから、心理の専門家や関係機関と連携し、支援できる組織づくりを学校と協力して早急に進めます。

振内中学校に関わる状況について、保護者、教職員と地域住民を対象に「これからの学校を考える会」を行っています。これまで2回、30名程度の参加のもと、小グループに分かれ、子ども達にとって環境がよい学校とは等の内容で熱心な意見交換が行われました。今後も継続し行う予定です。

公設塾びらとり義経塾への登録は、中学生59.2%、高校生76.3%

となっており、今後も各関係機関で連携を深めながら、より充実したものにしていきます。



△びらとり義経塾

審議した議案

第6回
臨時会
令和5年
8月8日

▼北海道市町村職員退職手当組合

規約の一部変更

加入団体の追加に伴う変更

▼一般会計補正予算（第3号）

ふれあいセンターびらとり配管及びトップライト修繕費用、地場産業振興対策補助事業（追加）、特別支援教育支援員追加配置費用ほか1263万4000円を追加

定例会

令和5年
9月21日
9月22日

▼教育委員の任命

本間稔浩氏（貫気別）の選任に同意しました。

▼条例の制定及び一部改正

令和6年4月から簡易水道事業が特別会計から公営企業会計へ移行することに伴い、既存条例の一部改正、廃止及び設置等に関する条例を制定

▼一般会計補正予算（第4号）

ケアハウスしずかボイラー更新事業補助金、振内地区函渠工生活雑排水施設移設工事、飼料価格高騰緊急対策事業支援金事業ほか

5391万4000円を追加

▼介護保険特別会計補正予算（第1号）

介護給付費国庫・道負担金ほか返還金1832万8000円を追加

▼令和4年度平取町各会計及び国民

健康保険病院特別会計決算認定決算審査特別委員会に付託し、審議を行うことになりました。

▼工事請負契約の締結

《二風谷地区（二風谷コタン）再

整備事業工房建設工事》（鉄骨造り平屋建て工房4棟）二風谷76番地

契約者…株式会社五十嵐工業

契約金額…7700万円

▼意見書案の提出

次の6件の意見書案を可決し、関係行政省庁へ送付しました。

○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【提出者…松澤議員】

○国土強靱化に資する社会資本整備に関する意見書

【提出者…松澤議員】

○地方財政の充実・強化に関する意見書

【提出者…井澤議員】

○義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

【提出者…井澤議員】

○道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

【提出者…井澤議員】

○北海道最低賃金改正等に関する意見書

【提出者…中川議員】

「平取町小学生議会」が開催されました

令和5年7月12日（水）平取町役場・議事堂

町内小学校5、6年生の代表10名が小学生議員となり、町政への質問や提言を行いました。町議会議員はサポート役として、開会前の発言内容の確認や議席近くでアドバイス等を行いました。

議事堂では実際に本会議で使用している議席に座り、一般質問とほぼ同様の手順により、各クラスで練り上げた質問を行っていました。町側からは真摯な答弁がありました。

どの小学生議員も開会前は緊張感いっぱいの様子でしたが、37名の傍聴席の児童を背に、はきはきと質問することができていました。

小学生議員

町議

小学生議員

町議

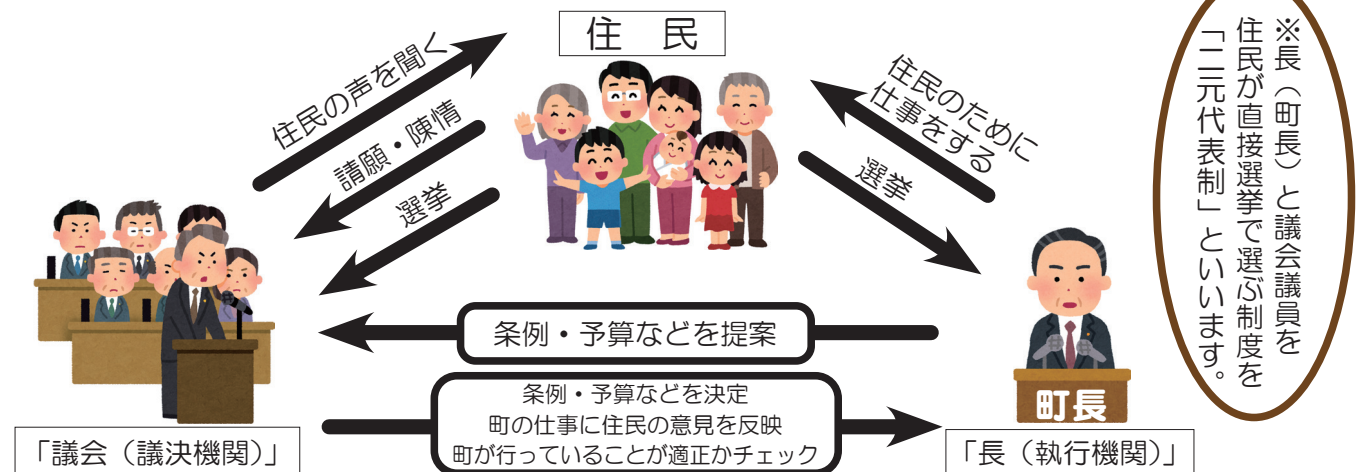


▼議会の仕組み▼

～議会について理解を深め、関心を持ってもらうために～

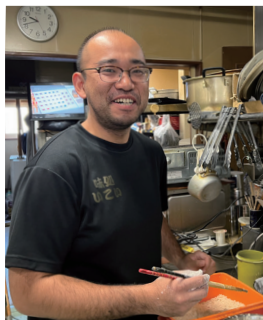
議会（ぎかい）って何？

平取町を暮らしやすい町にするためにはどうしたらいいでしょうか？町民全員が集まって話し合うのが一番良い方法ですが、全員が集まるのは大変です。そこで自分たちの代表を選挙で選んで代わりに話し合ってもらうことにしています。その代表が町長と議員です。（※二元代表制）



～あの人に聞く～

平取町の食を担う若きシェフ達 お2人にインタビュー～



味処いこい 店主
たかはし たつや
高橋 辰弥 さん

長年両親が営んできたお店を今年の7月に承継しました。僕が平取町に戻ってきたのは東北の震災の前年だったと思います。当時札幌で新規に開店するスタッフとして働いていましたが、閑古鳥が鳴く日々。そんな中、門別競馬場でお店を出さないかという話を頂き、地元に戻ってきました。

競馬場のお店を閉店した後も、いこいの調理場でラーメンを作ったり、メンチカツを揚げたりしていたらあっという間に40歳も目前です。

事業を継承して3ヶ月程ですが仕事量の多さに悪戦苦闘しています。看板を引き継いでいる以上、父との衝突も度々、思い通りにはいきません。

そんな中でも店に来てくれる友人とちょっとした会話で英気を養っています。近年の飲食店を取り巻く環境、とりわけ雇用の減少、物価高騰はとても厳しいものですが、それらを踏まえ自分に出来る事と出来ない事を模索している日々です。ご利用いただいている市民の皆様にはご不便をかける事もありますが、これからも宜しくお願い致します。

振内町にある、びらとり和牛とハンバーグのレストラン、じゃんけんぽんは父が平成元年に開店したお店です。今は私が主として厨房に立ち、お客様の料理を提供しています。

平取町には素晴らしい食材がたくさんあります。びらとり和牛の旨味、びらとりトマトの甘み、地元農家さんの野菜やお米をより美味しくお客様に味わっていただきたい思いで、その時期の旬の野菜を使いサラダや自家製ドレッシング、付け合わせを用意しています。地元のお客様だけでなく遠方からもお客様にご来店頂き有難い限りです。これも平取ブランドの魅力があってのことでしょう。今後も平取町の特産品の盛り上げや地産地消のPR活動に貢献できるよう頑張ります。

また、私自身の挑戦としては、冷凍ハンバーグや加工品に力を入れていきたいと考え勉強中です。びらとり和牛やお店の味をたくさんの方に知って頂ける様、北海道物産展などイベント出店にも積極的に参加しています。父に負けない努力で経営に向き合い、また来たいと思って頂けるお店になれるよう、お客様をお迎えします。『じゃんけんぽん』を宜しくお願い致します。



じゃんけんぽん 店長
ささき こうだい
佐々木 廣大 さん